

本制度は、技術会議傘下の部門委員会活動において多大な貢献をされた方に贈られる賞で、2008年に制定されました。対象は部門委員会の委員長、幹事、委員で、当該年度(1年間)の活動実績に基づいて授賞されます。

2022年度の受賞者は以下の42部門委員会より、48名の方々です。授与式は2023年8月1日に東京工業大学大岡山キャンパスデジタ尔多目的ホールにて、技術会議合同会議において執り行われ、各位に賞状が授与されました。

受賞者名(部門委員会名/所属)

角井 啓(ガソリン機関部門委員会/ボッシュ)  
嶋津 有宏(ディーゼル機関部門委員会/アイ・ピー・エー)  
中村 一輝(大気環境技術・評価部門委員会/エイヴィエルジャパン)  
香取 広平(燃料潤滑油部門委員会/出光興産)  
岩知道 均一(排気触媒システム部門委員会/岡山大学(元三菱自動車))  
山下 洋幸(計測・診断部門委員会/マツダ)  
郡司 大輔(電気動力技術部門委員会/日本精工)  
吉川 正明(電気動力技術部門委員会/ピューズ)  
花澤 理宏(ワイヤレス給電システム技術部門委員会/UL Japan)  
小川 誠(蓄電システム技術部門委員会/いすゞ中央研究所)  
相馬 慎吾(モータ技術部門委員会/本田技術研究所)  
中津 欣也(車載用パワーエレクトロニクス技術部門委員会/日立製作所)  
小山 茂樹(燃料電池部門委員会/本田技術研究所/技術研究組合 FC-Cubic 出向)  
荒川 一哉(動力伝達系部門委員会/トヨタ自動車)  
成田 幸仁(CVT・ハイブリッド部門委員会/室蘭工業大学)  
豊島 貴行(車両運動性能部門委員会/本田技術研究所)  
木谷 友哉(二輪車の運動特性部門委員会/静岡大学)  
井上 聡(車両特性デザイン部門委員会/トヨタ自動車)  
島村 和樹(車両特性デザイン部門委員会/日本自動車研究所)  
面田 雄一(アクティブセーフティ部門委員会/日本自動車研究所)  
高重 由佳里(ヒューマンファクター部門委員会/マツダ)  
草刈 由歌(ドライバ評価手法検討部門委員会/いすゞ中央研究所)  
増田 光利(インパクトバイオメカニクス部門委員会/トヨタ自動車)  
遠島 康平(トラフィックセーフティ部門委員会/本田技研工業)  
村山 裕之(トラフィックセーフティ部門委員会/トヨタ自動車)

戸田 雄一郎(エレクトロニクス部門委員会/岡山大学)  
福田 敏男(エレクトロニクス部門委員会/名古屋大学)  
松原 真己(タイヤ/路面摩擦特性部門委員会/早稲田大学)  
田中 博(CFD技術部門委員会/トヨタシステムズ)  
三浦 淳史(流体技術部門委員会/スズキ)  
石森 崇(伝熱技術部門委員会/日野自動車)  
松岡 久祥(振動騒音部門委員会/日産自動車)  
藤井 宇(音質評価技術部門委員会/横浜ゴム)  
喜多 純一(車室内環境技術部門委員会/におい科学研究所)  
加古 純一(自動車制御とモデル研究部門委員会/トヨタ自動車)  
伏木田 潔(構造強度部門委員会/日産車体)  
矢島 嗣元(構造形成技術部門委員会/三菱自動車工業)  
湯浅 卓也(疲労信頼性部門委員会/日産自動車)  
小池 正俊(材料部門委員会/SUBARU)  
土井 雅夫(生産加工部門委員会/ダイハツ工業)  
成瀬 勇(製造技術部門委員会/ヤマハ発動機)  
堀井 育郎(デザイン部門委員会/トヨタ自動車)  
森山 裕幸(モータスポーツ部門委員会/東海大学)  
関末 崇行(国際標準記述によるモデルベース開発技術部門委員会/アンシス・ジャパン)  
上田 雅生(国際標準記述によるモデルベース開発技術部門委員会/シーメンスEDAジャパン)  
石森 崇(持続可能な自動車社会検討部門委員会/日野自動車)  
鈴木 敬(持続可能な自動車社会検討部門委員会/日立製作所)  
山内 勝也(車外騒音部門委員会/九州大学)

(五十音順, 敬称略)